

竹並万吉氏の 塙保己一顕彰



竹並万吉氏は、郷土の偉人・塙保己一先生を「本庄市の偉人」から「世界に誇る偉人」へと高めるため、政治・文化・市民活動のすべてを捧げた方でした。

ほきいち祭実行委員会

県議会議員になって塙保己一先生を啓発しました

竹並万吉氏が、平成7年に最初の県議懇談会で「塙保己一先生の事を知っていますか」と質問したところ、95名の県議のうちで手を挙げたのは、わずか8名ほどに留まりました。

「これでは駄目だ。もっと啓発に努めなければ」と意を強くされました。

戦前の尋常小学校教科書には、塙保己一先生が紹介されていましたが、戦後のGHQ（連合国軍最高司令官総司令部）による占領政策では、国学や神道に対して強い圧力を加えるものでした。

そのため戦後の教科書には塙保己一先生は掲載されていません。

しかし、道徳の教科書だけは埼玉県のカリキュラムで創ることができたので、教育局と上田知事（当時）に相談して、現在も埼玉県の小学校中学校高等学校では独自の道徳教科書を編纂し、塙保己一先生の事績を掲載していただく運びとなりました。

塙保己一賞の創設 上田知事への提案とその実現



竹並万吉氏は、上田清司知事に「塙保己一賞の創設」を提案し、その実現に尽力されました。

塙保己一賞は、平成19年度から埼玉県が主催し、本庄市も共催しています。総検校塙保己一先生遺徳顕彰会も支援しています。

埼玉県は大賞・奨励賞・貢献賞を贈呈、本庄市もブロンズ像を贈呈。

群読劇「塙保己一物語」の創設

竹並万吉氏は、本庄市で塙保己一先生の群読劇団の創設を強く願い、平成26年（2014年）に塙保己一物語劇化実行委員会を組織して会長となり、大勢の仲間を集めました。



そして地元の偉人「塙保己一先生」の遺徳を顕彰し市民に広めようと、前進座の志村智雄さん（座友・俳優・演出・脚本家）の指導を受け、地元の根岸久さんの原作により、市民の手作りで群読劇「塙保己一物語」を創り上げました。



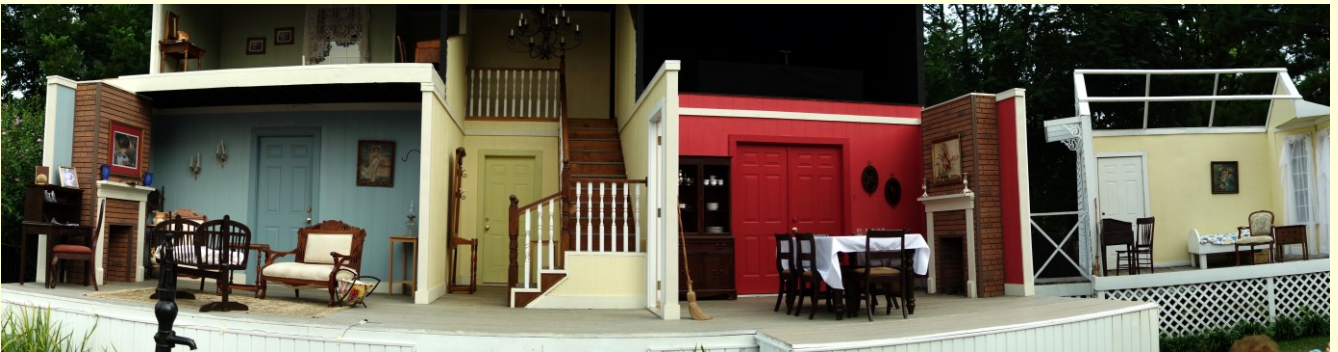
大人の群読劇は、平成28年（2016年）11月20日に兎玉セルディ、平成29年8月に本庄市民文化会館、そして平成30年8月にワープ上里と合計3回公演して大盛況でした。

ヘレン・ケラー生誕地へ訪問団

竹並万吉氏はヘレン・ケラー生誕地訪問を提案し、本庄市民を中心に11名が平成28年6月23日～28日の4泊6日の日程で、ヘレン・ケラーさんの生誕地（米国アラバマ州タスカンビア市）に訪問いたしました。



タスカンビア市長から市の鍵贈呈 ヘレン・ケラー図書館にて市長と訪問団



ヘレン・ケラー生家（博物館）の特設ステージ

毎年、ヘレン・ケラーさんの誕生日（1880年6月27日）にちなみ、誕生日の前後にヘレン・ケラーフェスティバル週間があり、ヘレン・ケラー生家（博物館・公園）の特設ステージで野外劇「奇跡の人」を鑑賞されました。

ここでは子ども達を毎年公募し素晴らしい劇を上演していました。



野外劇「奇跡の人」 サリバン先生に水をかける



井戸で水を知る

子ども群読劇「塙保己一物語」の創設

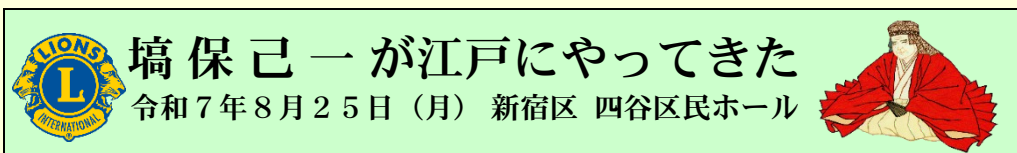
竹並万吉氏は、ヘレン・ケラー生誕地訪問で現地では毎年子ども達によるヘレン・ケラー劇が行われているのに感銘を受け、令和2年に本庄市で子ども群読劇の劇団を創り会長になりました。そして富丘富士子さんが演技指導を行い、子ども群読劇の練習が始まりました。



令和7年12月20日 児玉セルディ「第20回塙保己一賞」

令和3年5月5日、はにぽんプラザにおいて「旗揚げ公演」を行いました。

令和7年5月10日 児玉セルディの「第3回ほきいち祭」が14回目の公演、令和7年8月25日 新宿区四谷区民ホールで行った「塙保己一が江戸にやってきた」が15回目の公演、令和7年12月20日 児玉セルディ「第20回塙保己一賞」が16回目の公演です。



新宿区四谷区民ホール「塙保己一が江戸にやってきた」

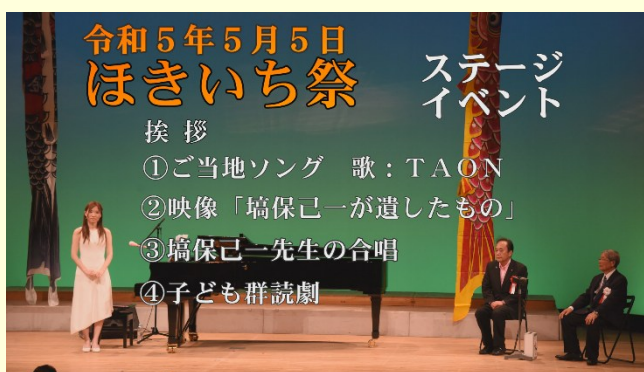


群読劇「塙保己一物語」

「ほきいち祭」の創設

竹並万吉氏は、「ほきいち祭実行委員会」を組織し、令和5年5月5日（Go-Go-Go）に「ほきいち祭」と言う新しいイベントを企画し、好天に恵まれて大勢の参加者が楽しみました。

イベントの内容は「塙保己一先生の史跡巡り」「セルディで塙保己一先生の色々な制作・展示・販売などの楽しいイベント」「ホールで歌・合唱・群読劇」などです。



版木型絵馬



塙保己一クッキー



塙保己一粘土



塙保己一スタンプラリー



三色つみっこ



版木刷り体験



塙保己一の合唱 ↑

群読劇「塙保己一物語」 ↓



令和7年5月開催「ほきいち祭」での挨拶文より

なぜ今「ほきいち祭」なのか

このお祭は、私達ができる「世界平和」実現の運動なのです

ほきいち祭実行委員会 会長 竹並万吉

世の中は大変乱れております。戦争は絶対にやるべきではないと、強く願っている人が、世界中には数え切れないほどたくさんいるのに、残念ながら世界各地で戦争やそれに近い「人を殺し合う紛争」が起こっております。



これから起こる戦争は、人間性の欠如したリーダーによって核兵器が使用され取り返しのつかない状態になる危険性があります。

それに対して「そうするべきではない」といくらデモをしても、声を大にして叫んでも、効果は少なく空しい限りです。

そんな中で私達にできること、私達が「今」やるべきことは何かと考えました。

私達が住んでいる本庄市は、世界に誇れる塙保己一先生の生誕地です。

保己一先生は全盲でありましたが、決して人を憎んだり、恨んだりせず、争いは決してしませんでした。

その上「世のため^よ後のため^{のち}」と命をかけて貴重な文献を残されておられます。

その心は「戦争の無い・争いの無い・落ちついた世の中」で、協力しあって、生きることの大切さを訴えていると思います。

そこで、私達はこの「ほきいち祭」を通じて老若男女、そして全国・世界の人々が「塙保己一」という人間がいたこと、その塙保己一は障害があっても力強く生きることができていることを証明し更に命の大切さを伝えて下さっています。

そのことを世に広げたく、このお祭を始めました。



ほきいち祭
ホームページ

「生誕祭」の創設

本庄市が誇る塙保己一先生は、延享3年5月5日（1746年）にお生まれになりました。

ほきいち祭実行委員会では、令和5年から2回ほど5月5日に「ほきいち祭」として、塙保己一先生を身近に感じられるイベントを行って参りました。

令和7年は連休を避けて5月10日に「第3回ほきいち祭」を実施いたしました。5月5日は大事な日なので、新たに「塙保己一先生生誕祭」として、塙保己一記念館に近接した会議室で式典を行いました。

期 日	令和7年5月5日（月・祝）午前10時から11時
場 所	アスパアこだま内の児玉公民館「多目的室」 主催者挨拶、知事祝辞代読、来賓挨拶
読 経	塙保己一先生が愛した「般若心経」の全員読経
ミ ニ 講 話	高橋英雄氏（塙保己一記念館建替時の総合プロデューサー）
誓いの言葉	子ども代表から「塙保己一先生への誓いの言葉」



アトラクション

竹並万吉氏は、「ほきいち太鼓」と「ほきいち音頭」の創設を提案しました。

この日は「ほきいち音頭」と「ほきいち太鼓」の初お目見えでした。

5月10日の「ほきいち祭」には、もっと大勢の出演者と観客が参加してくれました。

←ほきいち太鼓

↓ほきいち音頭



文責：ほきいち祭実行委員会 事務局長 田中学

メール：gakusan@tanaka.nifty.jp